



## 発表動画作成マニュアル

# Windows PowerPoint版

**提出期限：10月25日（月）**

**提出先：** <https://confit-vas.atlas.jp/jbs2021/video/login>

※アップロードいただいた動画をそのまま大会当日に再生・配信します。音声・タイミングが間違いなく保存されていることを事前にご確認ください。

## 発表スライドの作成

発表スライドにご自身の音声を録音し、音声入りのスライドショー動画を作成してください。

### 1. 動画の形式

スライドのアスペクト比：16:9を推奨

ファイル名：演題番号\_氏名 例) P-999\_生化 太郎

ファイル形式：mp4, mov, wmv, avi

ファイル容量：目安500MB（上限1GB）

### 2. 発表時間

演者毎に持ち時間が異なります。事務局からメールで通知した講演時間に合わせてご作成をお願いいたします。

## 機器準備、録音準備

Windows版PowerPoint2013以降のバージョンをご利用ください。

<手順>

1. パソコン・マイクの準備をお願いします。
2. マイクの性能テストを行ってください。  
マイクがついているノートPCの場合は内臓マイクを、マイクのないノートPCやデスクトップPCを使用する場合は外付けのマイクをつないで音声を録音してください。
3. 録音の際は極力静かな場所で雑音が入らないようお願いします。

スライドを送りながらご自身の発表の音声を録音してください。

次ページからの説明画像では、ご利用のPowerPointのバージョンによってメニューの配置や表記、作業の流れに多少の違いがあります。ご了承ください。

## [Windows] PowerPoint2019 でのビデオ作成例

### <はじめに> レーザーポインター機能の使用方法

#### 手法①

スライドショー画面で右クリックをし、メニューの中から「ポインターオプション」>「レーザーポインター」を選んでください。

#### 手法②

スライドショー画面の左下にメニューバーがあり、ペンのアイコンをクリックするとメニューが開きます。その中から「レーザーポインター」を選択してください。

※PPT2010ではレーザーポインター機能は無く、ペンでの書き込みになります。



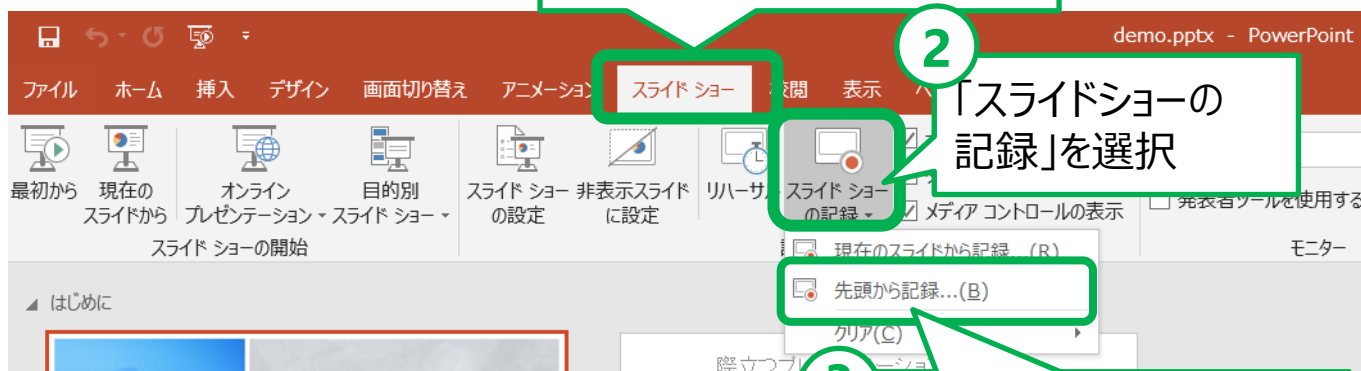
#### 【ご注意】

レーザーポインター機能を使用すると、マウス左クリックでのスライド送りができません。キーボードのカーソルキーでページ送りの操作をしてください。

## 手順 1 : 録音の設定・準備

1

「スライドショー」タブを選択



## 手順 2 : マイク・カメラの設定

4

「設定」からマイクの状態を確認してください

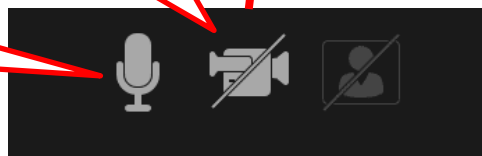
6

カメラがついているPCの場合、オンにしているとカメラに映った映像が画面の端にワイプで保存されます。  
ご自身の映像を含める場合にはオンにしてください。

5

マイクのミュートを解除してください

拡大図

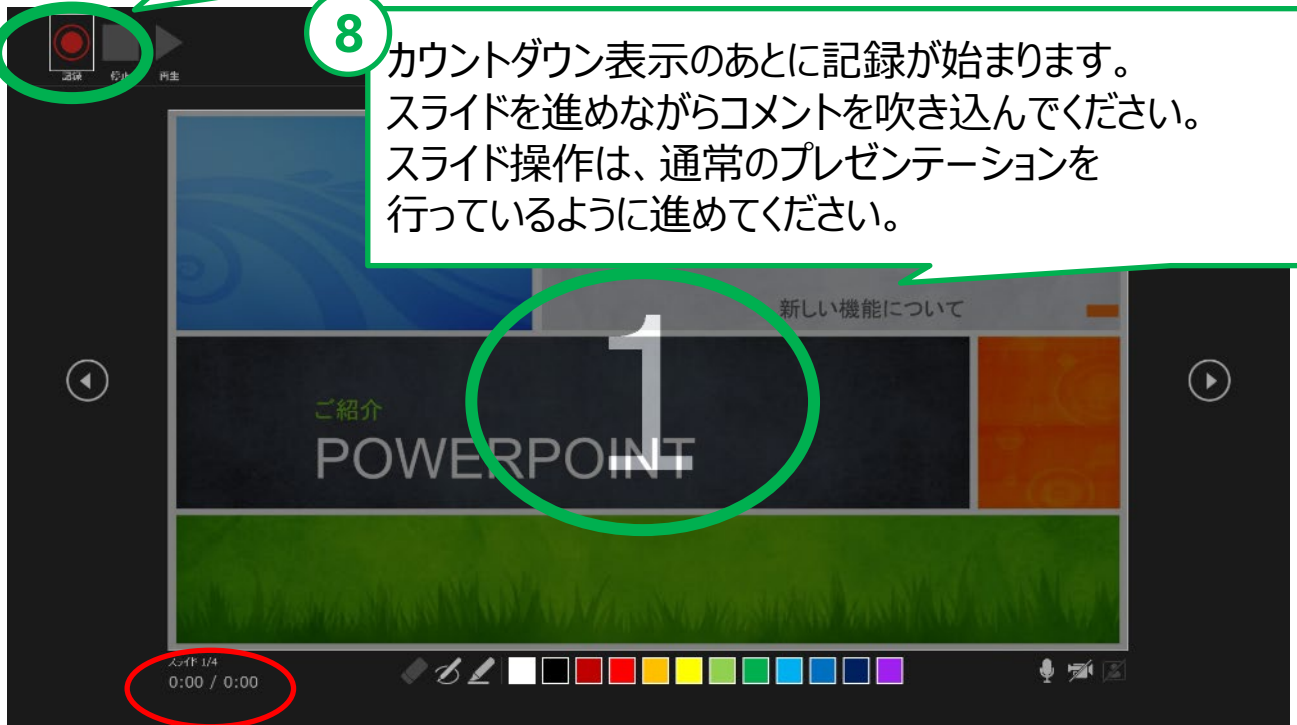


## 手順 3 : 録音を開始

録音を開始し、スライドを送りながら発表してください。  
この時に操作したとおりのタイミング（スライドが表示される時間）で記録されます。

7 「記録」を押して記録をスタート

8 カウントダウン表示のあとに記録が始まります。  
スライドを進めながらコメントを吹き込んでください。  
スライド操作は、通常のプレゼンテーションを行っているように進めてください。

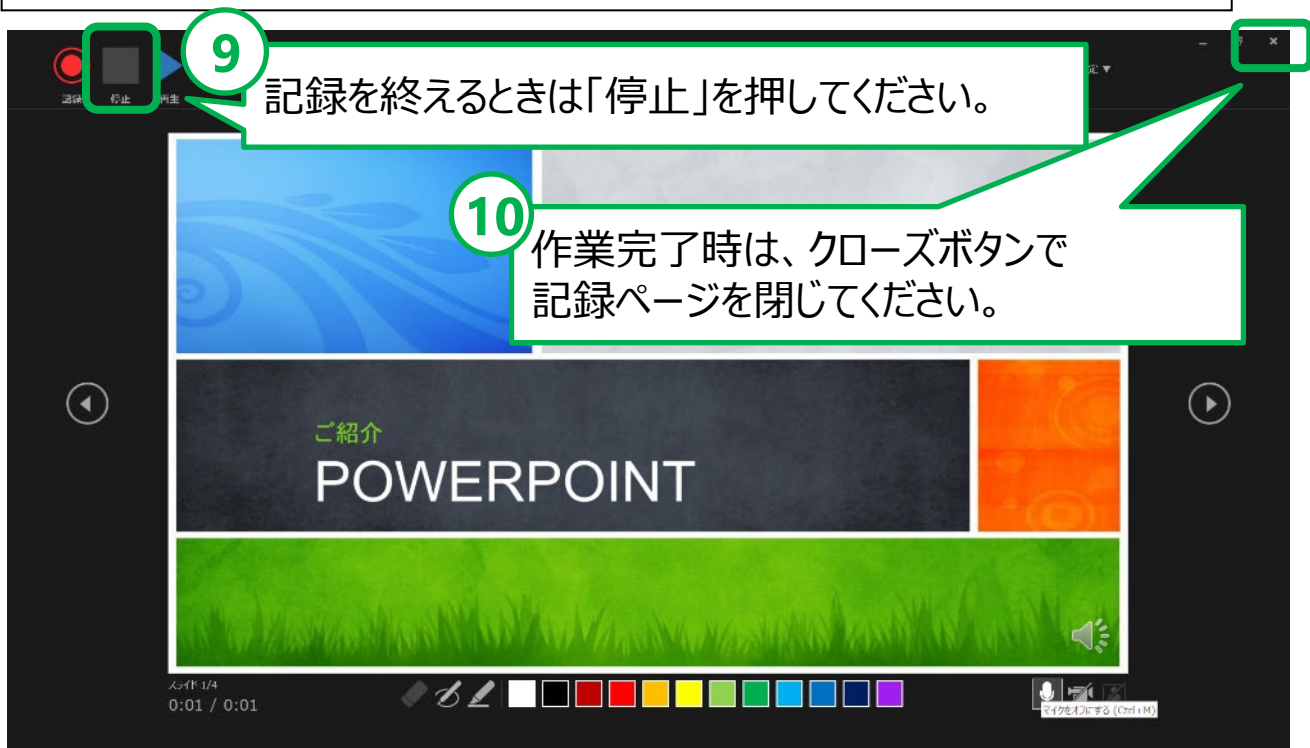


ここに計時が表示されます

### 【ご注意】

スライドを切り替えるタイミングでは、音声は録音されません。  
次のスライドに切り替わったのを確認してから話し始めてください。

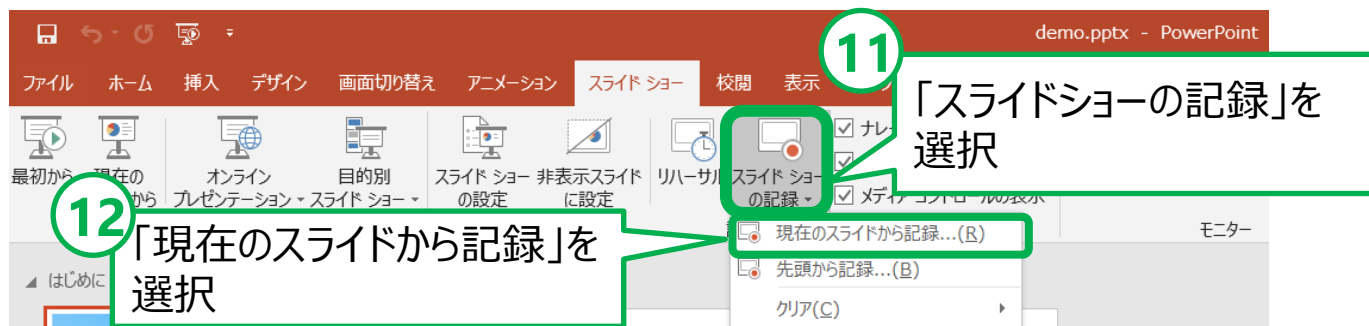
## 手順 4 : 録音の終了



## 手順 5 : 確認・修正

1. PowerPointを保存してください。
2. 再度ファイルを開きスライドショーで確認して、音声やスライドのタイミングに問題がないか確認してください。
3. 修正を行いたい場合には、該当のスライドを選択し、再度記録を行ってください。

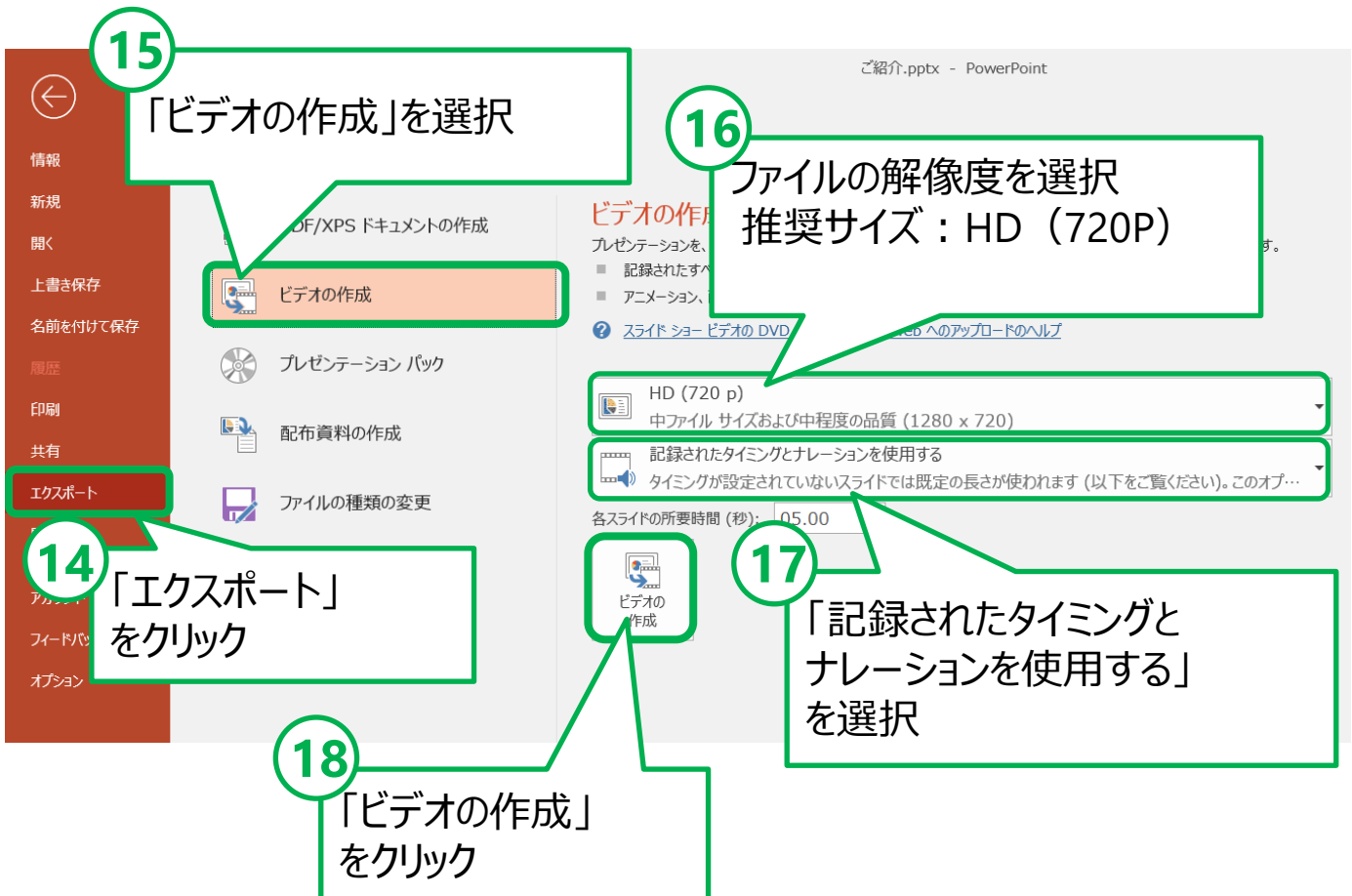
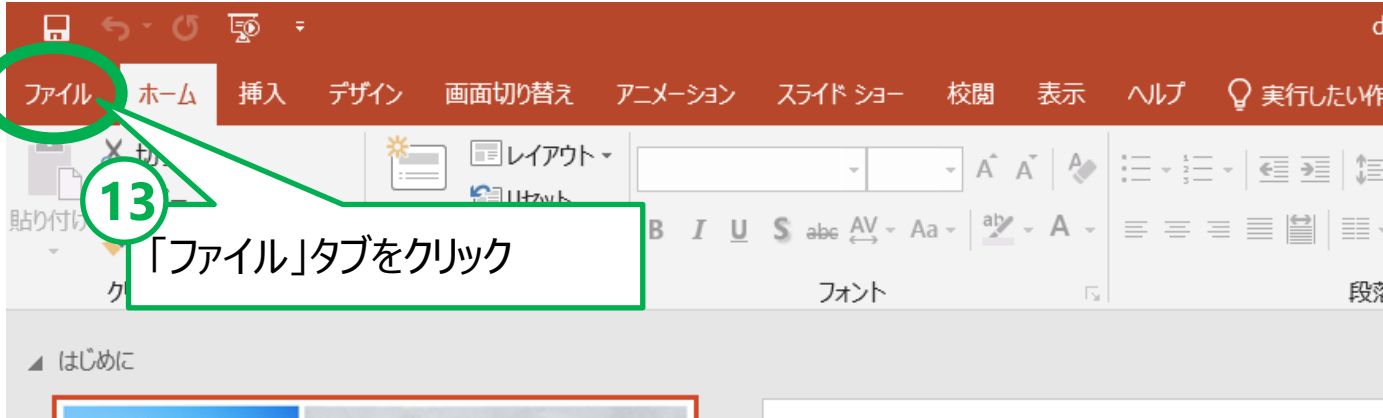
その際、【現在のスライドから記録】を選択してください。



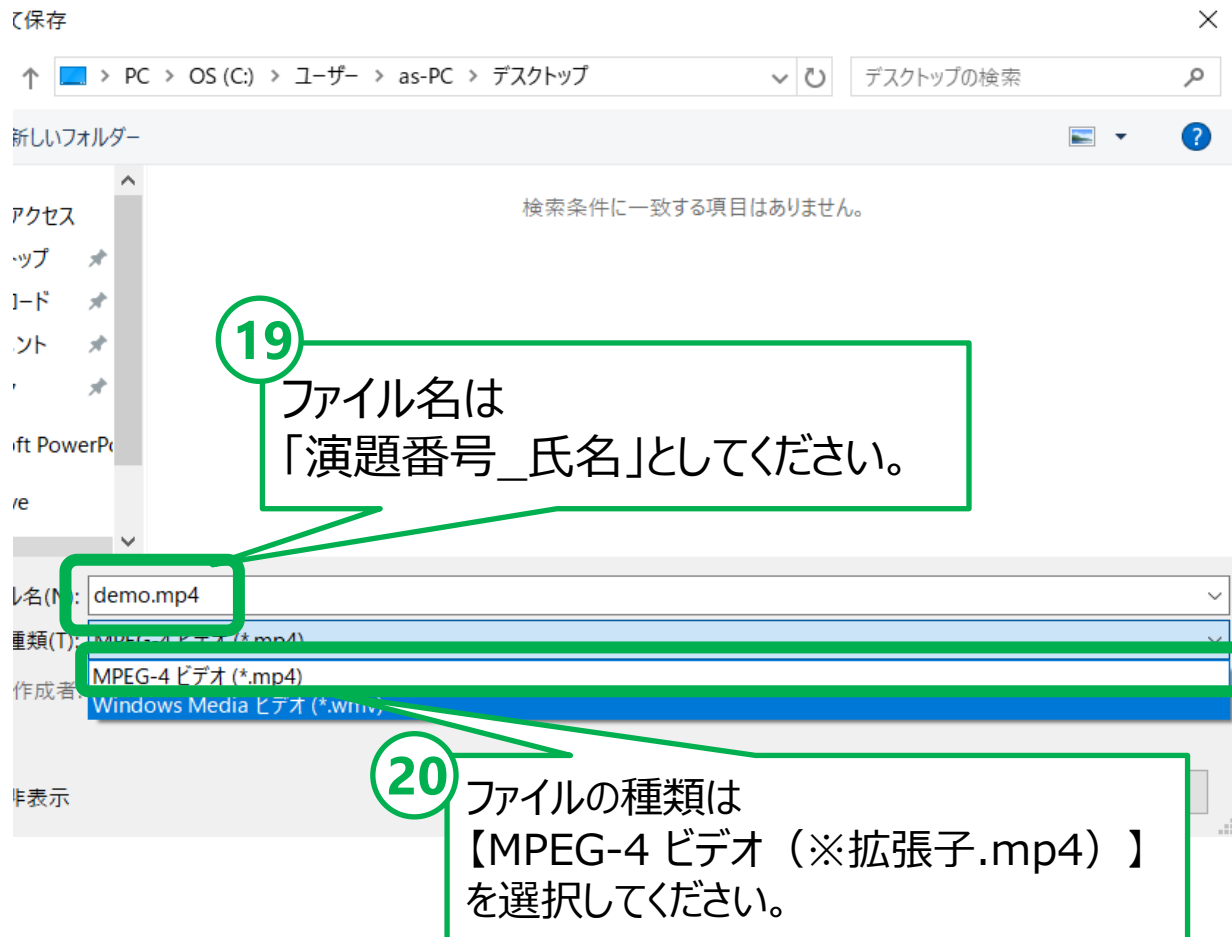
4. 記録を終了したら「停止」を押してください。

# 動画ファイルへの変換・保存

## 手順 6 : 動画ファイルに変換してデータを保存



## 手順 7 : 動画ファイルをPCに保存



### 【お願いとご注意】

- できあがった動画ファイルは、可能な限り、作成に使用したPC以外のPCでも再生テストを行ってください。
- 動画の容量によって、保存に時間を要する場合があります。ご注意ください。